Pro Tools HD 8.0 へのアップグレード

Version 8.0

法律に基づく表示

003, 003 Rack, 96 I/O, 96i I/O, 192 Digital I/O, 192 I/O, 888|24 I/O, 882|20 I/O, 1622 I/O, 24-Bit ADAT Bridge I/O, AudioSuite, Avid, Avid DNA, Avid Mojo, Avid Unity, Avid Unity ISIS, Avid Xpress, AVoption, Axiom, Beat Detective, Bomb Factory, Bruno, C|24, Command|8, Control|24, D-Command, D-Control, D-Fi, D-fx, D-Show, D-Verb, DAE, Digi 002, DigiBase, DigiDelivery, Digidesign, Digidesign Audio Engine, Digidesign Intelligent Noise Reduction, Digidesign TDM Bus, DigiDrive, DigiRack, DigiTest, DigiTranslator, DINR, D-Show, DV Toolkit, EditPack, Eleven, HD Core, HD Process, Hybrid, Impact, Interplay, LoFi, M-Audio, MachineControl, Maxim, Mbox, MediaComposer, MIDI I/O, MIX, MultiShell, OMF, OMF Interchange, PRE, ProControl, Pro Tools M-Powered, Pro Tools, Pro Tools|HD, Pro Tools LE, QuickPunch, Recti-Fi, Reel Tape, Reso, Reverb One, ReVibe, RTAS, Sibelius, Smack!, SoundReplacer, Sound Designer II, Strike, Structure, SYNC HD, SYNC I/O, Synchronic, TL Aggro, TL AutoPan, TL Drum Rehab, TL Everyphase, TL Fauxlder, TL In Tune, TL MasterMeter, TL Metro, TL Space, TL Utilities, Transfuser, Trillium Lane Labs, Vari-Fi Velvet, X-Form, XMON, Xpand! は Digidesign および / または Avid Technology, Inc. の商標または登録商標です。その他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品の機能、仕様、システム要件、供給は予告なく変更することがあります。

Guide Part Number 9320-59100-01 REV A 11/08

取扱説明書に対するご意見

Digidesign は常に取扱説明書の品質の向上に努めています。私共の取扱説明書に対するご感想、ご指摘、ご意見がありましたら、techpubs@digidesign.com まで電子メールをお送りください。

目次

第 1 章
はじめに

このガイドでは、Digidesign® 推奨の Windows コンピュータまたは Mac コンピュータを使った Pro Tools HD® システム用 Pro Tools® をバージョン 8.0 へアップグレードする方法を説明します。

Pro Tools を Mac コンピュータにインストールする方は、第 2 章の「Pro Tools を Mac へインストールする」をお読みください。

Pro Tools を Windows コンピュータにインストールする方は、第 3 章の「Pro Tools を Windows へインストールする」をお読みください。

このバージョンの Pro Tools をインストールする前に、Pro Tools インストーラ・ディスクの「Read Me」の内容を確認してください。

はじめて Pro Tools をインストールする場合は、各システムの「セットアップ・ガイド」に記載されているハードウェアおよびソフトウェアのインストール手順をお読みください。

システムの必要条件と互換性

Pro Tools HD ソフトウェアは、Digidesign 推奨の Windows コンピュータまたは Mac コンピュータを使った Pro Tools|HD システムで使用できます。

Digidesign は、Digidesign が動作確認を行ったハードウェアとソフトウェアに対してのみ互換性を保証し、サポートを行います。

Digidesign が動作を保証するコンピュータ、オペレーティングシステム、ハードディスク、他社の機器については、Digidesign の ウェブサイト（www.digidesign.com/compatibility）に掲載されている最新の一覧表をご覧ください。

インターネットへのアクセス

Pro Tools をアップグレードするには、インターネットへアクセスしてソフトウェアのアクティベーションと登録を行う必要があります。

DVD ドライブ

Pro Tools インストーラ・ディスクでインストレーションを行うには、DVD ドライブが必要です。

第 2 章

Pro Tools を Mac へインストールする

この章では、Digidesign が推奨する Mac コンピュータを使った Pro Tools|HD システム用 Pro Tools のインストールと設定について説明します。

Pro Tools HD の Windows コンピュータへのインストールについては、第 3 章の「Pro Tools を Windows へインストールする」をお読みください。

システムの必要条件と互換性については、以下の Digidesign のウェブサイトをご覧ください。

www.digidesign.com/compatibility

アップグレードする前に

Pro Tools の初期設定を記録する

Pro Tools HD ソフトウェアをアップグレードすると、Pro Tools の初期設定がデフォルトの設定にリセットされます。このデフォルトの設定は、現在の設定とは異なる場合があります。従って、アップグレードする前に現在の初期設定を記録しておいた方がよいでしょう。Pro Tools の現在の初期設定を記録しておく方法については、付録 A の「初期設定を記録する」をお読みください。

Read Mes（お読みください）

このバージョンの Pro Tools をインストールする前に、Pro Tools インストーラ・ディスクの「Read Me」の内容を確認してください。

Structure プラグインと Xpand! プラグインに関する 注意

すでに Structure® または Structure LE のフル・バージョンがシステムにインストールされている場合は、Structure Free はインストールされません。

すでに Xpand!® がシステムにインストールされている場合は、Xpand! 2 をインストールすると Xpand! が上書きされます。Xpand! のプリセットはすべて Xpand! 2 プラグインの [Presets] フォルダへコピーされ、Xpand! 2 で使用できます。

インストレーションの概要

Pro Tools ソフトウェアを Mac コンピュータへインストールする手順は以下のとおりです。

1 Pro Tools ソフトウェアをオーソライズする。4 ページの「Pro Tools のアップグレードをオーソライズする」参照。

2 Pro Tools HDソフトウェアをインストールする。4 ページの「Pro Tools HD ソフトウェアをインストールする」をお読みください。

3 Pro Tools を起動する。5 ページの「Pro Tools HD を起動する」をお読みください。

4 処理能力が向上するようシステムを設定する。(各システムに付属の「セットアップ・ガイド」をお読みください。)

Pro Tools のアップグレードをオーソライズする

Pro Tools のアップグレードをインストールする前に、Pro Tools アプリケーションをオーソライズするための iLok ライセンスを入手する必要があります。ライセンスの入手方法は、製品をどのように購入したかによって異なります。

- ソフトウェアのアップグレードをオンラインで購入した場合は、オンラインの説明に従ってください。

- パッケージ版の Pro Tools ソフトウェアのアップグレードを購入した場合は、アクティベーション・コード（アクティベーション・カードに記載）を使ってライセンスを入手します。4 ページの「パッケージ版の Pro Tools のアップグレードをオーソライズする」をお読みください。

パッケージ版の Pro Tools のアップグレードをオーソライズする

Pro Tools HD ソフトウェアのアップグレードは、iLok のライセンスによって保護されています。オーソリゼーションは、Pro Tools ソフトウェアのアップグレード・ライセンスを iLok のアカウントから iLok USB スマート・キーに移し、Pro Tools を使用できるようにする手続きです。

アクティベーション・カードに記載されているソフトウェアのオーソライズをまだ行っていない場合は、以下の手順に従ってください。

アクティベーション・コードを使って Pro Tools HD のアップグレードをオーソライズするには：

1 同梱されているアクティベーション・カードを確認します。このカードに記載されているコードで iLok ライセンスを取得することができます。

2 まだiLok.comのアカウントをお持ちでない方は、www.iLok.com で iLok.com のアカウント（無償）を作成してください。

3 www.digidesign.com/activation にアクセスし、アクティベーション・コードを入力して、[Continue] をクリックします。Digidesign のアカウント（My Digi）にログインしていない場合は、アカウントの作成に使った E メール・アドレスでログインする画面が表示されます。まだアカウントを持っていない場合は [Create Profile] をクリックしてアカウントを作成してください。

4 ilok.com にアクセスし、アカウントへログインし、説明に従ってアカウントから iLok USB スマート・キーへライセンスを転送します。

5 4 ページの「Pro Tools HD ソフトウェアをインストールする」へ進んでください

Pro Tools HD ソフトウェアをインストールする

Pro Tools HD のソフトウェアをインストールするには：

1 Pro Tools のインストール先に管理者権限でログインします。Mac OS X の管理者権限について詳しくは、Apple OS X の説明書をお読みください。

2 以下のいずれかを行います。

- ソフトウェアのアップグレードをオンラインで購入した場合は、オンラインの説明に従ってインストーラを解凍し、起動してください。

  または

- パッケージ版の Pro Tools のアップグレードを購入した場合は、以下のすべてを行います。
  - Windows 用 Pro Tools インストーラ・ディスクを DVD ドライブに挿入します。
  - [Install Pro Tools HD.mpkg] ファイルを探してダブルクリックします。

3 画面の指示に従って 、インストールを開始します。

4 インストールする機能を選択する画面が表示されたら、デフォルトで選択された状態にしておきます。

5 Pro Tools と共にインストールするオプションを一覧から選択することもできます。

Avid ビデオエンジン Avid® ビデオ・エンジンは、Avid Mojo や Digidesign AVoption|V10 などの Avid ビデオ機器と共に Pro Tools を使用するときに必要です。

MIDI I/O ドライバ MIDI I/O Driver は、Digidesign MIDI I/O を使用するときに必要です。

Pro Tools インストーラ・ディスクには、付属のソフトウェアが収録されています。詳しくは、6 ページの「Pro Tools インストーラ・ディスクに付属しているソフトウェア」をお読みください。

6 [インストール] をクリックします。

7 メッセージが表示されたら、管理者のパスワードを入力し、[OK] をクリックしてインストールを承認してください。

8 作業環境を選択します。一般的なポストプロダクション、オーディオ、またはオーディオと MIDI 用の Pro Tools の初期設定を読み込みます。

初期設定はいつでも変更できます。詳しくは「Pro Tools リファレンス・ガイド」をお読みください。

9 [続ける] をクリックします。

10 インストールが完了したら、[再起動] をクリックします。

Pro Tools HD を起動する

Pro Tools HD を起動するときは、使用する Pro Tools HD ソフトウェアをオーソライズするライセンスを持つ iLok が必要です。

Pro Tools HD ソフトウェアのアップグレードのオーソリゼーションの入手方法については、4 ページの「Pro Tools のアップグレードをオーソライズする」をお読みください。

Pro Tools HD ソフトウェアを起動するには :

1 HD のハードウェアがコンピュータに接続されていることを確認します。

2 オーソライズされた iLok をコンピュータの USB ポートに差し込みます。

ProTools の起動中および使用中には、iLok を取りはずさないでください。

3 以下のいずれかを行います。

- Dock の Pro Tools HD アイコンをクリックします。

または

- ハードディスクにある Pro Tools HD アプリケーションをダブルクリックします。

4 [クイック スタート] ダイアログを使って以下のいずれかを行います。

- テンプレートから新規セッションを作成する。
- 空の新規セッションを作成する。
- 最近のセッションを開く。

・ セッションを開く。

セッションのテンプレートを表示した [クイック スタート] ダイアログ

[クイック スタート] ダイアログとセッションのテンプレートについて詳しくは、「Pro Tools リファレンスガイド」をお読みください。

Pro Tools を設定する

プロセッシング、再生、録音に関わる Pro Tools の「システム設定」を変更すると、システムの処理能力を向上させることができます。

多くの場合、デフォルトの設定で十分な処理能力が得られますが、Pro Tools のセッションのデータ量によっては設定を変更した方がよい場合もあります。

Pro Tools の設定方法については、「HD セットアップ・ガイド」をお読みください。

Pro Tools インストーラ・ディスクに付属しているソフトウェア

Pro Tools インストーラ・ディスクには、他社製のオーディオ・アプリケーションで Digidesign のハードウェアを使用するためのオーディオ・ドライバや Pro Tools デモ・セッションなどが収録されています。

付属のソフトウェアとインストーラについては、Pro Tools インストーラ・ディスクの内容をご確認ください。

サードパーティーのアプリケーションと プラグイン

Pro Tools のパッケージには、Digidesign のサードパーティーの無償のアプリケーションとプラグインがいくつか付属しています。Pro Tools のインストレーションが完了したら、これらを個別にインストールできます。

インストーラーは、Pro Tools インストーラー・ディスクの [Additional Files]>[3rd Party Content] フォルダにあります。

Digidesign の CoreAudio ドライバ

CoreAudio ドライバは、CoreAudio ドライバ規格に対応したサードパーティー製のアプリケーションで Digidesign のオーディオ・インターフェースを使用するためのドライバです。

以下の Pro Tools システムのインターフェースに対応しています。

- Pro Tools|HD
- 003®
- 003 Rack
- 003 Rack+
- Digi 002®
- Digi 002 Rack
- Mbox®

Pro Tools をインストールすると、CoreAudio Driver も自動的にインストールされます。

Digidesign CoreAudio ドライバの設定について詳しくは、「CoreAudio ドライバ・ガイド」をお読みください。

スタンドアローンの CoreAudio ドライバ

Digidesign の CoreAudio ドライバは、Pro Tools ソフトウェアがインストールされていない Mac システムにもインストールできます。

スタンドアローンの CoreAudio ドライバのインストールと設定について詳しくは、「CoreAudio ドライバ・ガイド」をお読みください。

Pro Tools デモ・セッション

Pro Tools HD インストーラ・ディスクに収録されているデモ・セッションで、システムが正常に動作しているかどうかを確認することができます。Pro Tool HD 用デモ・セッションの名前は [Meant To Be] です。

オーディオ用ハードディスクにデモ・セッションをインストールする前に、「セットアップ・ガイド」の説明に従ってドライバの設定を行ってください。

デモ・セッションをインストールするには：

1 DVD ドライブに Pro Tools インストーラ・ディスクを挿入します。

2 インストーラ・ディスクの [Additional Files] フォルダ内の [Pro Tools Demo Session Installer] フォルダを開きます。

3 [HD Demo Session Setup.pkg]ファイルをダブルクリックします。

4 画面の指示に従って 、インストールを開始します。

5 メッセージが表示されたら、インストールする場所としてオーディオ用ドライブを選択し、[Continue] をクリックするとインストールが始まります。

6 [Install] をクリックします。

7 インストレーションが完了したら、[Close] をクリックします。

[Pro Tools HD Demo Session] フォルダ内の [Meant To Be.ptf] ファイルをダブルクリックすると、デモ・セッションが開きます。

Pro Tools をアンインストールする

Pro Tools ソフトウェアをコンピュータからアンインストールするときは、[Uninstall Pro Tools] アプリケーションを使用します。

Pro Tools をコンピュータからアンインストールするには :

1 Pro Tools がインストールされたアカウントに管理者権限でログインします。

Mac OS X の管理者権限について詳しくは、Apple OS X の説明書をお読みください。

2 アプリケーション /Digidesign/Pro Tools/ Pro Tools Utilities を開き、[Uninstall Pro Tools.app] ファイルをダブルクリックします。

3 [Continue] をクリックしてアンインストールを開始します。

4 アンインストールの種類を選択します。

セーフ・アンインストール Avid 製品に対応するための特定のプラグインとシステム・ファイルをアンインストールの対象から除外します。Avid アプリケーションを使用している場合は「セーフ・アンインストール」を選択してください。

クリーン・アンインストール システム・ファイル、Digidesign プラグイン、MIDI パッチ・ネームを含むすべての Pro Tools ファイルを削除します。アップグレードを行う場合やトラブルシューティングを行う場合は [クリーン・アンインストール] を行ってください。

5 [Uninstall] をクリックします。

6 管理者のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

7 [Finish] をクリックし、インストーラを閉じます。

第 3 章

Pro Tools を Windows へインストールする

この章では、Digidesign が推奨する Windows コンピュータを使った Pro Tools|HD システム用 Pro Tools のインストール方法を説明します。

Pro Tools HD の Mac コンピュータへのインストールについては、第 2 章の「Pro Tools を Mac へインストールする」をお読みください。

システムの必要条件と互換性については、以下の Digidesign のウェブサイトをご覧ください。

www.digidesign.com/compatibility

アップグレードする前に

Pro Tools の初期設定を記録する

Pro Tools HD ソフトウェアをアップグレードすると、Pro Tools の初期設定がデフォルトの設定にリセットされます。このデフォルトの設定は、現在の設定とは異なる場合があります。従って、アップグレードする前に現在の初期設定を記録しておいた方がよいでしょう。Pro Tools の現在の初期設定を記録しておく方法については、付録 A の「初期設定を記録する」をお読みください。

Read Mes（お読みください）

このバージョンの Pro Tools をインストールする前に、Pro Tools インストーラ・ディスクの「Read Me」の内容を確認してください。

Structure プラグインと Xpand! プラグインに関する 注意

すでに Structure または Structure LE のフル・バージョンがシステムにインストールされている場合は、Structure Free はインストールされません。

すでに Xpand! がシステムにインストールされている場合は、Xpand! 2 をインストールすると Xpand! が上書きされます。Xpand! のプリセットはすべて Xpand! 2 プラグインの [Presets] フォルダへコピーされ、Xpand! 2 で使用できます。

インストレーションの概要

Pro Tools ソフトウェアを Windows コンピュータへインストールする手順は以下のとおりです。

1 Pro Tools ソフトウェアをオーソライズする。Pro Tools のアップグレードをオーソライズする ページの 10 をお読みください。

2 Pro Tools ソフトウェアをインストールする。Pro Tools HD ソフトウェアをインストールする ページの 10 をお読みください。

3 QuickTime ソフトウェアをインストールする。(QuickTime をインストールする ページの 12 参照)。

4 Pro Tools を起動する。Pro Tools HD ソフトウェアを起動する ページの 12 をお読みください。

5 処理能力が向上するようシステムを設定する。（「HD セットアップ・ガイド」をお読みください。）

Pro Tools のアップグレードをオーソライズする

Pro Tools のアップグレードをインストールする前に、Pro Tools アプリケーションをオーソライズするための iLok ライセンスを入手する必要があります。ライセンスの入手方法は、製品をどのように購入したかによって異なります。

・ ソフトウェアのアップグレードをオンラインで購入した場合は、オンラインの説明に従ってください。

・ パッケージ版の Pro Tools ソフトウェアのアップグレードを購入した場合は、アクティベーション・コード（アクティベーション・カードに記載）を使ってライセンスを入手します。パッケージ版の Pro Tools のアップグレードをオーソライズする ページの 10 をお読みください。

パッケージ版の Pro Tools のアップグレードをオーソライズする

Pro Tools HD ソフトウェアのアップグレードは、iLok のライセンスによって保護されています。オーソリゼーションは、Pro Tools ソフトウェアのアップグレード・ライセンスを iLok のアカウントから iLok USB スマート・キーに移し、Pro Tools を使用できるようにする手続きです。

アクティベーション・カードに記載されているソフトウェアのオーソライズをまだ行っていない場合は、以下の手順に従ってください。

アクティベーション・コードを使って Pro Tools HD のアップグレードをオーソライズするには：

1 同梱されているアクティベーション・カードを確認します。このカードに記載されているコードで iLok ライセンスを取得することができます。

2 まだiLok.comのアカウントをお持ちでない方は、www.iLok.com で iLok.com のアカウント（無償）を作成してください。

3 www.digidesign.com/activation にアクセスし、アクティベーション・コードを入力して、[Continue] をクリックします。Digidesign のアカウント（My Digi）にログインしていない場合は、アカウントの作成に使った E メール・アドレスでログインする画面が表示されます。

4 ilok.com にアクセスし、アカウントへログインし、説明に従ってアカウントから iLok USB スマート・キーへライセンスを転送します。

5 Pro Tools HD ソフトウェアをインストールする ページの 10 へ進んでください。

Pro Tools HD ソフトウェアをインストールする

Pro Tools HD のソフトウェアをインストールするには：

1 Windows が起動したら、管理者権限でログインしてください。管理者権限について詳しくは、Windows のマニュアルをご覧ください。

2 旧バージョンの Pro Tools をアンインストールします。Pro Tools のアンイストール方法について詳しくは、Pro Tools をアンインストールする ページの 15 をお読みください。

3 以下のいずれかを行います。

- ソフトウェアのアップグレードをオンラインで購入した場合は、オンラインの説明に従ってインストーラを解凍し、起動してください。

  または

- パッケージ版の Pro Tools のアップグレードを購入した場合は、以下のすべてを行います。
  - Windows 用 Pro Tools インストーラ・ディスクを DVD ドライブに挿入します。

- [Setup] アイコンをダブルクリックします。

Windows Vista で [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は、[許可] をクリックします。

4 インストールする機能を選択する画面が表示されたら、デフォルトで選択された状態にしておきます。

5 Pro Tools と共にインストールするオプションを一覧から選択することもできます。

Mac HFS+ ディスク対応オプション Pro Tools システムが Mac フォーマットの HFS+ ディスクを使って録音と再生を行うためのオプションです。HFS+ ディスクは、Mac OS 拡張ディスクともいいます。

Avid ビデオエンジン Avid ビデオ・エンジンは、Avid Mojo や Digidesign AVoption|V10 などの Avid ビデオ機器と共に Pro Tools を使用するときに必要です。

Command|8 コントローラーとドライバ Digidesign の Command|8® コントロール・サーフェスを使用するときは、Command|8 ドライバが必要です。

Pro Tools インストーラ・ディスクには、付属のソフトウェアが収録されています。詳しくは、Pro Tools インストーラ・ディスクに付属しているソフトウェア ページの 14 をお読みください。

6 [次へ] をクリックします。

7 作業環境を選択します。一般的なポストプロダクション、オーディオ、またはオーディオと MIDI 用の Pro Tools の初期設定を読み込みます。

初期設定は、Pro Tools の使用中にいつでも変更できます。詳しくは、「Pro Tools リファレンス・ガイド」を参照してください。

8 [次へ] をクリックします。

9 [インストール] をクリックします。

Windows XP では、「ドライバが Windows のロゴのテストをパスしない」といった一連のダイアログが表示される場合があります。その場合は [続行] をクリックしてください。

その他のダイアログやメッセージが表示された場合は([新規ハードウェアダイアログ] など)、それらを開いたままにして、クリックしないでください。これらのダイアログは自動的に閉じます。

Windows Vista では、一連の [セキュリティ] ダイアログが表示される場合があります。その場合は [インストール] をクリックしてください。

10 すべてのソフトウェア・コンポーネント、ドライバ、PACE システムファイルのインストールが完了したら、次のステップに進みます。

11 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

12 QuickTime がインストールされていない場合は、QuickTime をインストールする ページの 12 へ進んでください。

QuickTime をインストールする

Pro Tools のセッションにムービー・ファイル、MP3 ファイル、MP4 (AAC) ファイルをインポートするには、Digidesign が推奨するバージョンの QuickTime が必要です。Windows 用の QuickTime は、Apple 社のウェブサイト（www.apple.com）から無償でダウンロードできます。

Pro Tools の各バージョンに必要な QuickTime のバージョンについては、Digidesign のウェブサイト（www.digidesign.com/compatibility）の互換性に関するページをご覧ください。

QuickTime をインストールするには：

1 www.apple.comのQuickTimeのページを開きます。

2 QuickTime のインストーラをコンピュータにダウンロードします。

3 QuickTime のインストーラ・アプリケーションをダブルクリックし、画面の指示に従って QuickTime をインストールします。

4 コンピュータを再起動します。

Pro Tools HD ソフトウェアを起動する

Pro Tools HD を起動するときは、使用する Pro Tools HD ソフトウェアをオーソライズするライセンスを持つ iLok が必要です。

Pro Tools HD ソフトウェアのアップグレードのオーソリゼーションの入手方法については、Pro Tools のアップグレードをオーソライズするページの 10 をお読みください。

Pro Tools HD ソフトウェアを起動するには：

1 HD のハードウェアがコンピュータに接続されていることを確認します。

2 iLok をコンピュータの USB ポートに差し込みます。

3 以下のいずれかを行います。

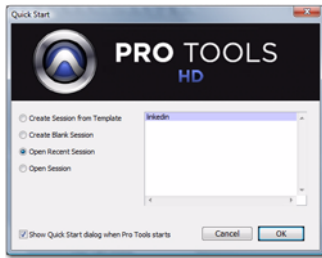
- デスクトップの ProTools HD のショートカットをダブルクリックします。

または

- ハードディスクにある Pro Tools HD アプリケーションをダブルクリックします。

4 [クイック スタート] ダイアログを使って以下のいずれかを行います。

- テンプレートから新規セッションを作成する。
- 空の新規セッションを作成する。
- 最近のセッションを開く。

・ セッションを開く。

[クイック スタート] ダイアログ

 [クイック スタート] ダイアログとセッションのテンプレートについて詳しくは、「Pro Tools リファレンスガイド」をお読みください。

 ProTools の起動中および使用中には、iLok を取りはずさないでください。

処理能力が向上するようシステムを設定する

プロセッシング、再生、録音に関わる Pro Tools の「システム設定」を変更すると、システムの処理能力を向上させることができます。

多くの場合、デフォルトの設定で十分な処理能力が得られますが、Pro Tools のセッションのデータ量によっては設定を変更した方がよい場合もあります。

また、Windows の設定によっても Pro Tools の処理能力は変わります。

Pro Tools と Windows の設定方法については、ソフトウェアと共にインストールされる「セットアップ・ガイド」の PDF 版をお読みください。

Pro Tools インストーラ・ディスクに付属しているソフトウェア

Pro Tools インストーラ・ディスクには、他社製のオーディオ・アプリケーションで Digidesign のハードウェアを使用するためのオーディオ・ドライバや Pro Tools デモ・セッションなどが収録されています。

付属のソフトウェアとインストーラについては、Pro Tools インストーラ・ディスクの内容をご確認ください。

サードパーティーのアプリケーションと プラグイン

Pro Tools のパッケージには、Digidesign のサードパーティーの無償のアプリケーションとプラグインがいくつか付属しています。Pro Tools のインストレーションが完了したら、これらを個別にインストールできます。

インストーラーは、Pro Tools インストーラー・ディスクの [Additional Files]>[3rd Party Content] フォルダにあります。

Pro Tools のインターフェース用 Windows オーディオ・ドライバ

(Pro Tools|HD、003、003 Rack、Digi 002、Digi 002 Rack、Mbox 2、Mbox 2 Mini、Mbox のみ)

Digidesign の ASIO Driver と WaveDriver は、それぞれ ASIO Driver 規格と WaveDriver MME（Multimedia Extensions）規格に対応したサード・パーティ製アプリケーションで Digidesign のインターフェースを使用するためのドライバです。以下の Pro Tools システムのインターフェースに対応しています。

- Pro Tools|HD
- 003
- 003 Rack
- 003 Rack+
- Digi 002
- Digi 002 Rack
- Mbox 2
- Mbox 2 Mini
- Mbox

Digidesign の ASIO Driver と WaveDriver は、Pro Tools と共にインストールされます。

各ドライバの仕様と設定について詳しくは、「Windows オーディオ・ドライバ・ガイド」をお読みください。

Digidesign ASIO Driver

Digidesign ASIO Driver は、サード・パーティ製 ASIO Driver 規格対応プログラムが Pro Tools オーディオ・インターフェースを使ってオーディオの録音と再生を行うためのマルチチャンネル・サウンド・ドライバ（シングル・クライアント）です。

Digidesign ASIO Driver の設定について詳しくは、「Windows オーディオ・ドライバ・ガイド」をお読みください。

Digidesign WaveDriver（Windows XP のみ）

Windows システム用のオーディオ・ドライバである WaveDriver は、サード・パーティ製 WaveDriver MME (Multimedia Extensions) 対応プログラムが Pro Tools オーディオ・インターフェースを使ってオーディオの録音と再生を行うためのマルチチャンネル・サウンド・ドライバ（シングル・クライアント）です。

Digidesign WaveDriver の設定について詳しくは、「Windows オーディオ・ドライバ・ガイド」をお読みください。

スタンドアローンの Windows オーディオ・ドライバ

Digidesign の Windows オーディオ・ドライバは、Pro Tools がインストールされていない Windows システムにもインストールできます。スタンドアローンの Windows オーディオ・ドライバのインストーラ（Digidesign Audio Drivers Setup.exe）は、Pro Tools インストーラ・ディスクに収録されています。

Pro Tools デモ・セッション

Pro Tools インストーラー・ディスクに収録されているデモ・セッションで、システムが正しく動作しているか確認することができます。
Pro Tool HD 用デモ・セッションの名前は [Meant To Be] です。

オーディオ用ドライブにデモ・セッションをインストールする前に、「HD セットアップ・ガイド」の説明に従ってドライバの設定を行ってください。

デモ・セッションをインストールするには：

1 DVD ドライブに Pro Tools インストーラ・ディスクを挿入します。

2 インストーラ・ディスクの [Additional Files] フォルダ内の [Pro Tools Demo Session Installer] フォルダを開きます。

3 [HD Demo Session Setup.exe]ファイルをダブルクリックします。

4 画面の指示に従って 、インストールを開始します。

5 メッセージが表示されたら、インストールする場所としてオーディオ用ドライブを選択し、[次へ] をクリックするとインストールが始まります。

6 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

[Pro Tools HD Demo Session] フォルダの [Meant To Be.ptf] ファイルをダブルクリックすると、デモ・セッションが開きます。

Pro Tools をアンインストールする

コンピュータから Pro Tools ソフトウェアをアンインストールするときは、[Uninstall Pro Tools] アプリケーションを使います。

Pro Tools をコンピュータからアンインストールするには：

1 Windows が起動したら、管理者権限でログインしてください。管理者権限について詳しくは、Windows のマニュアルをご覧ください。

2 以下のいずれかを行います。

- Windows 用 Pro Tools インストーラ・ディスクを DVD ドライブに挿入し、[Uninstall Pro Tools.exe] をダブルクリックします。

または

- Pro Tools のアップグレードをすでにインストールしている場合は、Program Files¥Digidesign¥Pro Tools¥Pro Tools Utilities の [Uninstall Pro Tools.exe] ファイルをダブルクリックします。

3 [Next] をクリックします。

4 [Uninstall]をクリックしてアンインストールを開始します。

5 アンインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

付録 A

初期設定を記録する

Pro Tools HD ソフトウェアをアップグレードすると、Pro Tools の初期設定がデフォルトの設定にリセットされます。このデフォルトの設定は、現在の設定とは異なる場合があります。従って、アップグレードする前に現在の初期設定を記録しておいた方がよいでしょう。

初期設定を記録するには、以下のいずれかを行います。

- [初期設定] ダイアログの各ページの画像（スクリーンショット）を撮ります。17 ページの「初期設定のスクリーンショットを撮る」をお読みください。

  または

- この章の表を使って初期設定を書き留めます。19 ページの「初期設定の一覧」をお読みください。

初期設定のスクリーンショットを撮る

Mac と Windows にはコンピュータの画面のスクリーンショットを撮る機能があります。使用するコンピュータに合わせて以下の説明に従ってください。

Mac でスクリーンショットを撮る

Mac の [グラブ] アプリケーションを使ってスクリーンショットを撮り、保存します。

Mac で初期設定のページのスクリーンショットを撮るには：

1 Pro Tools を起動し、[設定] (Setup) >[初期設定] (Preferences) を選択します。

2 Macの[グラブ]アプリケーションを起動します。

3 [グラブ] で、[取り込み]>[ウィンドウ] を選択します。

4 [ウィンドウの取り込み]ダイアログが開いたら、[ウィンドウの選択] をクリックします。

5 [初期設定] ダイアログをクリックしてスクリーンショットを撮ります。

6 [グラブ]で、[ファイル]>[別名で保存]を選択し、名前を入力してスクリーンショットを保存します。

7 この手順を[初期設定]ダイアログの各ページごとに繰り返します。

Windows でスクリーンショットを撮る

キーボードの [Print Screen] キーを使ってスクリーンショットを撮り、[ペイント] アプリケーションで保存します。

Windows で [初期設定] ダイアログのスクリーンショットを撮り、保存するには：

1 Pro Tools を起動し、[設定]（Setup）>[初期設定]（Preferences）を選択します。

2 コンピュータのキーボードの [Print Screen] キーを押します。

3 [ペイント] アプリケーションを起動します。

4 [ペイント]で、[編集]>[貼り付け]を選択します。

5 [ペイント] にスクリーンショットが表示されたら、[ファイル]>[名前を付けて保存] を選択し、名前を入力してスクリーンショットを保存します。

6 この手順を[初期設定]ダイアログの各ページごとに繰り返します。

初期設定の一覧

[表示] 初期設定

初期設定	設定
基本	
非表示トラックにもトラック番号を割り当てる	
ツールの使い方	
機能	
詳細	
編集ウィンドウのデフォルトの長さ	
プラグインメニュー整列	
フラットリスト	
種類	
製造元	
種類と製造元	
言語	
自動ネーミングは英語（ASCII）	
メーター	
ピークホールド	
3 秒	
無限	
なし	
クリップ表示	
3 秒	
無限	
なし	
色分け	

初期設定	設定
マーカー カラーを常に表示	
ベロシティを示す MIDI ノートの色	
デフォルトのトラック色分け	
なし	
トラックと MIDI チャンネル	
トラックと MIDI ディバイス	
グループ	
トラックタイプ	
デフォルトのリージョン色分け	
トラックと MIDI チャンネル	
トラックと MIDI ディバイス	
トラックカラー	
グループ	
マーカー位置	
リージョン リストカラー	

[操作] 初期設定

初期設定	設定
トランスポート	
タイムライン挿入点 / プレイ・スタート・マーカーを再生に追従	
編集挿入点をスクラブ / シャトルに追従	
早送り / 巻戻し中に 音を出す	
早送り / 巻戻しラッチ	
プレイ スタート マーカーはタイムライン位置に従う	
プレビュー用にボイスを予約（Pro Tools HD のみ）	
カスタム シャトル ロック スピード	
戻る / 送る長さ (Pro Tools HD のみ）	
2 秒	
5 秒	
10 秒	
15 秒	
20 秒	
30 秒	
小節 | 拍	
分 : 秒	
タイムコード	
フィート＋フレーム	
サンプル	
メインタイムスケールに従う	
テンキー	

初期設定	設定
クラシック	
トランスポート	
シャトル	
再生と停止には別々のキーを使用	
自動バックアップ	
セッションファイル自動バックアップを有効化	
保存	
分毎	
ビデオ	
Quick Time 再生の優先度	
通常	
高	
最高	
高品質 QuickTime イメージ	
Avid Video エラーにより再生停止（Avid ビデオエンジンを使った Pro Tools HD のみ）	
Avid Video NTSC 設定あり（NTSC-J）（Avid ビデオエンジンを使った Pro Tools HD のみ）	
録音	
録音ボタンをラッチ	
録音フェーダーと再生フェーダーをリンク	
オーディオトラックの録音をロック（Pro Tools HD）	
トランスポートの録音をロック（Pro Tools HD）	

初期設定	設定
録音停止時に入力のみモニターモードを解除（Pro Tools HD）	
停止時に録音待ちトラックをミュート（Pro Tools HD）	
PEC/Direct スタイル インプット モニタリング（Pro Tools HD）	
ループレコーディングのときは新規プレイリストを自動的に作成	
オンライン・オプション	
タイムコード（または ADAT）にロックした時点でオンライン録音	
挿入 / 選択位置でオンライン録音	
オープンエンド録音の割り当て	
すべての空き領域を使用	
限界を設定	
ディストラクティブパンチファイルの長さ	
その他	
Pro Tools の起動時にクイックスタートを表示	
オートリージョンフェードイン / アウトの長さ	
キャリブレーション リファレンス レベル	
遅延補正のタイムモード	
サンプル	
秒	

[編集] 初期設定

初期設定	設定
リージョン	
リージョンリストの選択は編集範囲に従う	
選択範囲はリージョンリストの選択に従う	
リージョンの分割時に自動ネーミング	
すべての関連テイクでリージョンの分割を実行	
トラック	
新規トラックのタイムベースはティック	
メモリーロケーション	
再生中にメモリーロケーションに名前をつける	
フェード	
クロスフェードプレビュー時のプリロール	
クロスフェードプレビュー時のポストロール	
QuickPunch/TrackPunch のクロスフェードの長さ	
編集時フェード維持	
フェードのデフォルト設定	
フェードイン ...	
フェードアウト ...	
クロスフェード ...	
REX...	

初期設定	設定
ズーム切り替え	
MIDI 垂直ズーム	
選択範囲	
最後に使用	
水平ズーム	
選択範囲	
最後に使用	
ズーム後に選択範囲を解除	
トラックの高さ	
最後に使用	
ミディアム	
ラージ	
ジャンボ	
エクストリーム	
ウィンドウに合わせる	
トラックビュー	
波形 / ノート	
ワープ / ノート	
最後に使用	
変更なし	
ズーム時はグリッド設定変更	
ズーム切り替えは編集位置に従う	
「取り消し」の回数	

[ミキシング] 初期設定

初期設定	設定
設定	
センドの初期設定を "–INF" に	
センド パンはメイン パンに従う	
ミックス / 編集グループをリンク	
絶対パンリンクを使用	
デフォルト EQ	
なし	
TDM プラグイン	
RTAS プラグイン	
デフォルト ダイナミクス	
なし	
TDM プラグイン	
RTAS プラグイン	
オートメーション	
パスの後にデータのスムージングとシンニングをする	
シンニング（間引き）する量	
なし	
少	
中	
多	
最多	
プラグインコントロールのデフォルトはオートオン	

初期設定	設定
オートメーションの「書き込み先」警告を表示 しない	
「タッチ」スイッチコントロールのラッチ動作	
停止時のラッチプライムを許可	
VCA グループからスレーブを削除する際結合	
グループ属性用標準 VCA ロジック	
トリム モードをセンドにも適用	
取り消しキューにコントロールチェンジを含む	
AutoMatch 時間	
AutoGlide の時間	
パス書き込み後切替	
タッチ	
ラッチ	
変更なし	
トリムオートメーションを結合	
各パス後	
既存のトリムモード	
コントローラー	
編集ウィンドウがバンク選択に追従	

初期設定	設定
ミックスウィンドウがバンク選択に追従	
「トラック番号ヘスクロール」にコントローラーが追従	
バンク移動時、常にチャンネルストリップを埋める	
タッチのタイムアウト時間	

[プロセッシング] 初期設定

初期設定	設定
AudioSuite	
AudioSuite ディザーを使用	
プラグイン	
ビット数	
16 ビット	
18 ビット	
20 ビット	
24 ビット	
インポート	
インポートされた ".wav" ファイルを AES31/BroadcastWave に変換	
インポート時にファイルを自動コピー	
REX ファイルをリージョングループとしてインポート	
フェード自動生成	
デスクトップからドラッグしたときはセッションテンポに従う	
ファイルなし	
REX ファイルと ACID ファイルのみ	
すべてのファイル	
サンプルレート変換の品質	
TC/E	
TC/E プラグイン	
デフォルト設定	

初期設定	設定
エラスティック オーディオ	
デフォルト プラグイン	
Polyphonic	
Rhythmic	
Monophonic	
Varispeed	
デフォルト インプット ゲイン	
新規トラックはエラスティックオーディオをオン	

[MIDI] 初期設定

初期設定	設定
基本	
MIDI/ 楽譜エディタを開いた後に選択範囲を削除	
タップテンポに MIDI を使用	
リアルタイムプロパティによって修正されたイベントを表示	
F11 キーを Wait for Note 機能に使用	
新規セッションにクリックトラックを作成	
デフォルト THRU インストゥルメント	
コントローラーデータを描く時のペンシルツール分解能	
MIDI 再生時のグローバルオフセット値（−10,000 から 10,000）	
MIDI リージョンをダブルクリックして開くのは	
MIDI エディタ	
楽譜エディタ	
MIDI イベントリスト	
名前ダイアログ	
ノート表示	
標準ピッチ	
代用ピッチ	
MIDI ノートナンバー	
外部機器の遅延補正	

初期設定	設定
MIDI タイムコード	
MIDI ビートクロック	
MIDI/ 楽譜エディタ表示	
楽譜エディタに空の小節を追加	

[同期] 初期設定

初期設定	設定
マシンコントロール	
マシンがメモリ ロケーションに追従	
マシンが選択挿入位置 / スクラブに追従	
リニア機器（ジョグ）	
ノンリニア機器（キュー）	
マシンがインテリジェントにキュー	
シャトルスピード 0 で停止	
ノンリニア トランスポート エラー抑制	
同期	
最小同期遅延	
LTC にロックする前のディレイ	
STC にロックする前のディレイ :	
リモートモード	
トラックアーミングを無視する	
再生コマンド受信時にサーボロックを設定	
ローカル モードのトラック アーミング許可コマンド	
パンチイン フレーム オフセット	
パンチイン フレーム オフセット	
再生コマンドの後に遅らせる	

初期設定	設定
サテライト	
ソロ送信	
ソロ受信	
ソロはリンクした状態から独立	
DAE エラーはリンクされたシステムすべてを停止	
再生範囲送信	
再生範囲受信	